

## 「かよの柿」栽培マニュアル (自走式ロボット草刈機による除草)

### 【導入機種 (例)】

和同 ロボモア MR-301H (本体)  
※充電ステーション (和同 ロボモア MR-301S)  
太陽光パネル (KIT)、電線ワイヤーが必要

### 【稼働前に必要な準備作業】

- ①圃場の外周に電線ワイヤーを設置 (作業は業者委託)  
※外周の地下部5cm前後に埋め込む
- ②圃場の1画に充電ステーションと太陽光パネルを並べて設置

### 【稼働 (除草) 作業の状況】

- ・稼働させると、本体は充電ステーションを離れて自走で除草作業 (走行) を開始する。
- ・走行中、前部に障害物 (例: カキの主幹) が現れると、自動的に走行する方向を変える。
- ・本体が圃場の外周部に到達すると、地下部の電線が発する微弱な電波を検出して、元へ戻る。

### 【除草効果】

- ・セイタカアワダチソウ等の草丈が高く、茎が硬い雑草の除草もできる。
- ・5日間で約10aの圃場の除草が完了する。
- ・雨天時や曇天時でも最低1日1時間程度は稼働する。



除草前



除草後



ロボット草刈機 (右) と太陽光パネル (左)



電線ワイヤーの設置作業

### 【留意事項】

- ・外周地下部の電線ワイヤーが断線すると本体が稼働しなくなる。
- ・断線の原因としては、ネズミによる食害等が考えられる。
- ・断線部の再接続は容易にできるが、地上部から断線箇所を探し出すのが手間。  
※端から電線ワイヤーを掘り起こして断線部を接続  
本体が再稼働しなければ、まだ他に断線部があるので再度探す必要がある
- ・断線部を地上部から探索できる装置のレンタルが可能
- ・ネズミ害の場合、前回と近い場所のワイヤーをかじる場合が多いので、一度断線した場所の外側に目印の棒等を設置しておく  
とよい。

### 【発行元】

天理市かよの柿エコ栽培協議会

奈良県大和郡山市満願寺町60-1

(奈良県北部農業振興事務所 農業振興課内)

TEL: 0743-51-0372 FAX: 0743-54-5512